

2011年 家計簿のまとめ

家計簿・くらし調査研究会



COOP コースかながわ



2011年 家計簿のまとめ

2011年は「東日本大震災」という稀に見る大災害のあった特別な年になりました。津波の恐ろしさや悲惨な原発事故を目の当たりにし、今まで当たり前だった便利な生活を考え直す機会になったのではないのでしょうか？…そんな年の家計簿を、過去のデータと比較しながら検証してみます。

《家計簿提出活動の意義・目的》

- ◆自分の暮らしを見つめる
- ◆生協の事業に生かす
- ◆社会的にデータを役立てる



★コープの家計簿集計では…

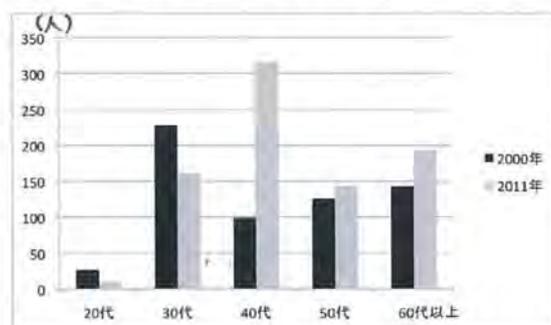
1. 「総平均」：合計を提出者数で割った数値
2. 「記入者平均」：合計を記入者数で割った数値
3. 「1ヶ月あたりの平均」：年間の合計を12ヶ月でわった数値
4. 「収入」：非消費支出の税金・社会保険を引く前の数値

※各項目のコメントは、当「家計簿くらし調査研究会」としての所見です。

★家計簿提出者数

モニター数は1ヶ月あたりの平均で817名でした。2000年は30代が全体の30%で一番多かったのですが、2011年は40代が30%と、一番多くなりました(2000年の約3倍)。全体的に見て、家計簿モニターも高齢化しています。

2000年と2011年の年代別提出者数(1ヶ月の平均)



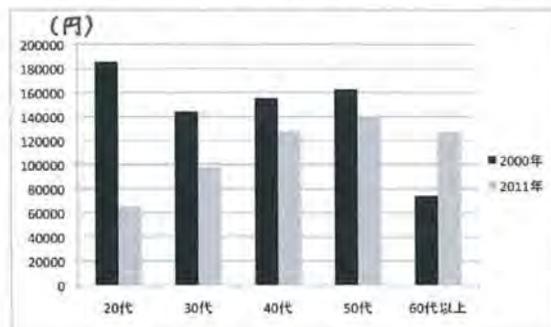
★提出者の状況

2011年の世帯主の平均年齢は50.0歳で、平均家族数は3.5人です。子どもの状況は、小学生が一番多く、373人、次いで中学生が212人、高校生が149人、大学生が116人です。意外にも「その他」は大学生よりも多く143人となっていて(1ヶ月当たりの平均)、独立せずに同居している子どもが多いことがわかります。

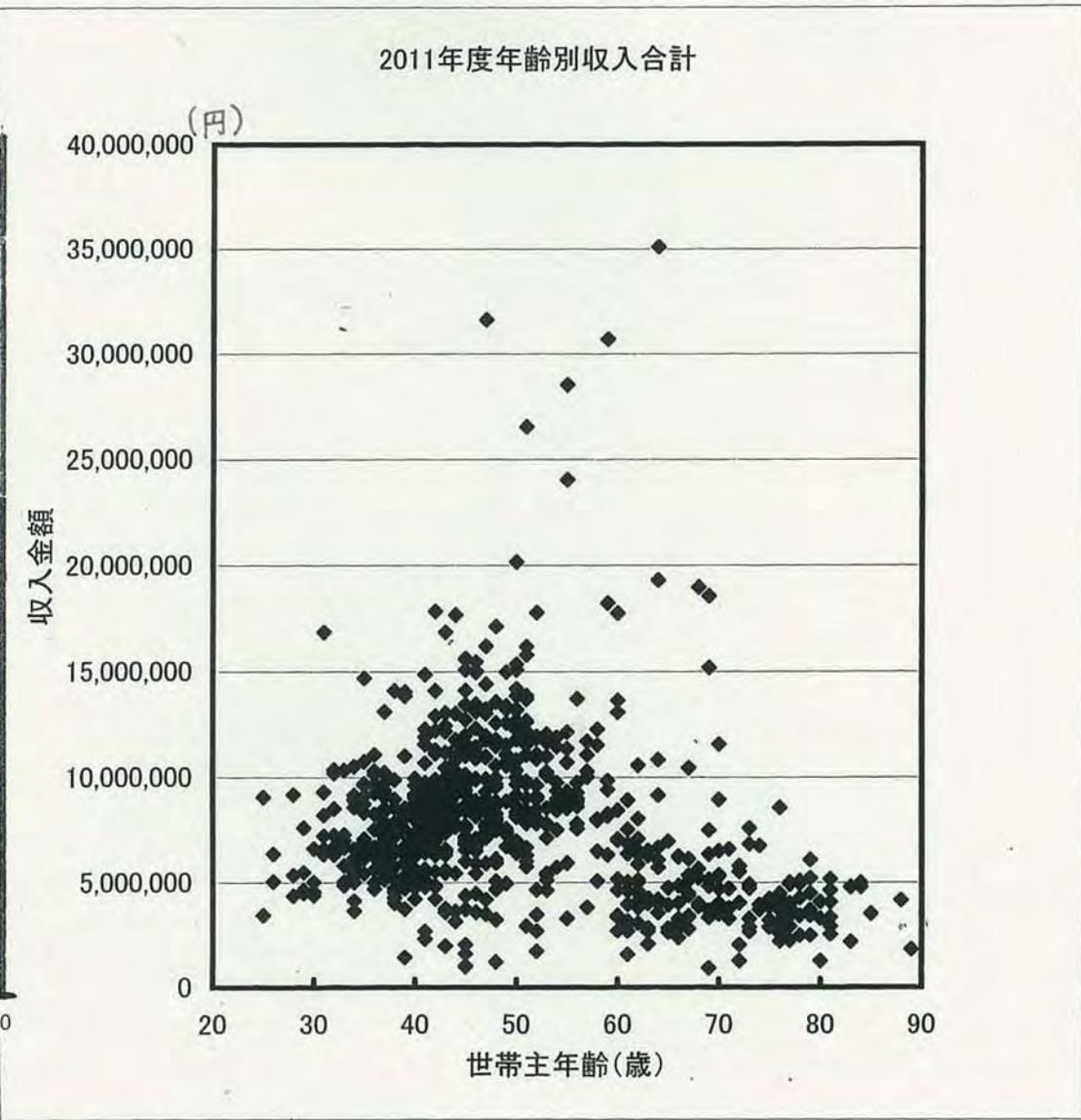
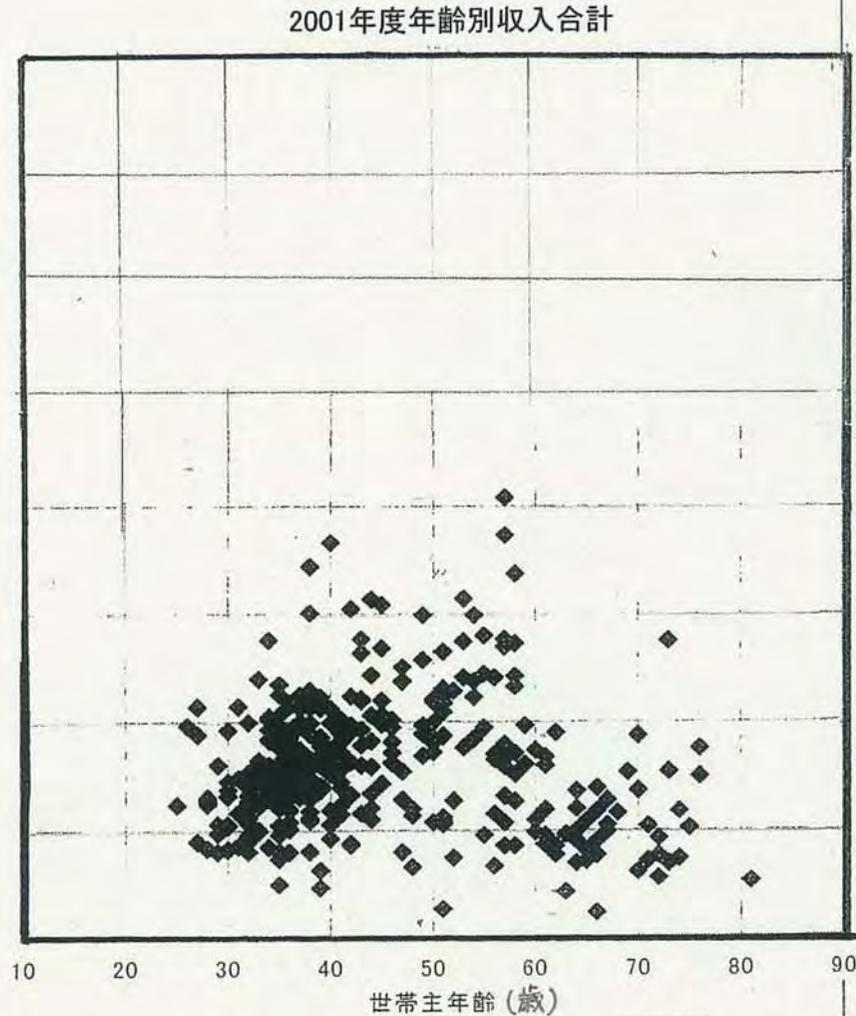
★住宅ローン

注目したいのは60代で、2000年と比べて約5万円も増えた約13万円を払っていることです。定年後も高額なローンを払い続けているのですね。しかし、65歳以上の年金世代になると額は減っていて完済している事も多いようです。逆に、50代は返済額は2000年よりは減ってはいるものの、金額的に見るとやはり一番多く(2000年は約16万円、2011年は約14万円)、この年代は教育費もかかるので、住宅ローンが家計の重い負担になっているのではないのでしょうか。

2000年と2011年の住宅ローンの比較(記入者平均)



2001年と2011年の年齢別収入の分布図



モニターひとりひとりの年間収入金額を◆(点)で表したグラフです。

2001年度モニター数624名と2011年度817名の◆(点)です。点が集中している部分が10年右に移動し、収入差の高低が2倍に広がっています。

年金受給世代(60歳以上)になっても家計管理への意識が高くなったためか、2011年では年金世代のモニター数が増加しました。

2011年を見ると年間収入200万円枠の◆(点)はまんべんなくどの世代でも見受けられ、2001年より年間所得の低い世帯が広がっています。

収入月平均は、2001年は645,593円・2011年は605,419円で、年間収入でも約50万円も減収し、家計のやりくりの大変さが伺えます。

《2011年の収入と支出》（総平均）

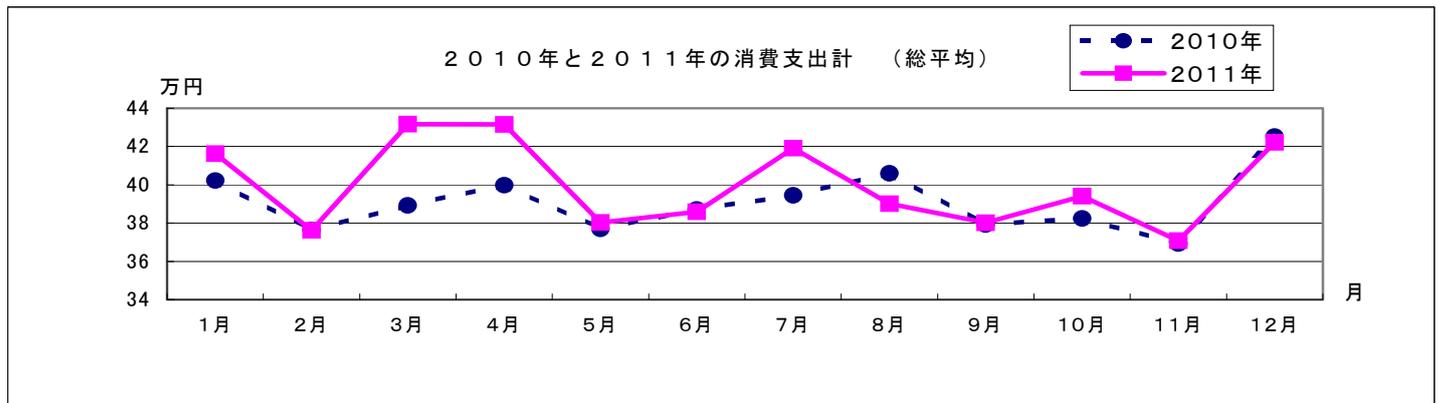
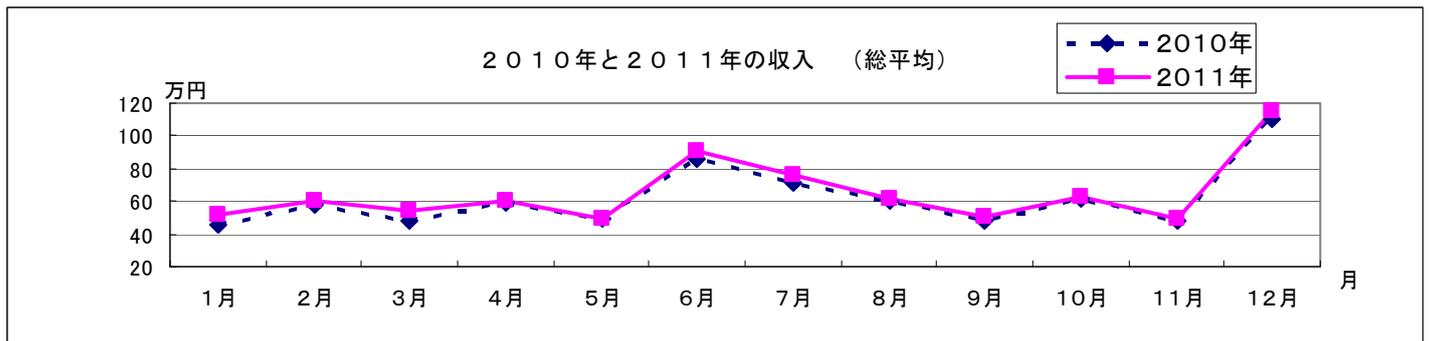
〈収入〉 実収入は前年比 104%で少し増えています。

〈支出〉 非消費支出は前年比 106%、消費支出も前年比 102%と少し増えています。

2010年と2011年の収入と支出—震災前と震災後の変化—

2011年3月11日、東日本大震災が起きました。

家計簿からは震災前と震災後の収入と支出の変化から、震災の影響を考えました。



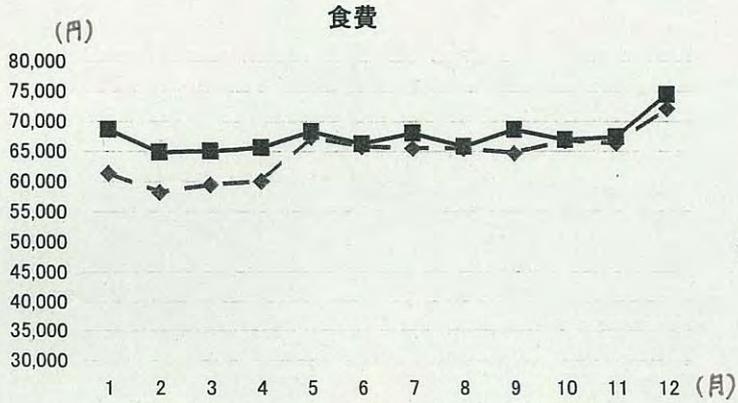
収入は2011年の方が、1月・3月・7月に約5万円増加していますが、その他の月ではほとんど変化はありません。しかし支出は震災のあった3月と翌月の4月で大変増加しています。この原因が震災と関係あるかどうか、費目毎に比較すると、「食費」「家賃・地代」「住居費その他」が増加していました。「住居費その他」は3月が1.14倍4月が2.2倍に増加しています。計画停電が実施され、カセットコンロや電池等の品薄が思い出されます。

7月は2011年の方が支出計で25,000円増加しています。「教養娯楽費」が4,000円・「自動車関係費」が18,000円・「教育費」が10,000円増加しており、「住居費その他」は5,000円減っています。

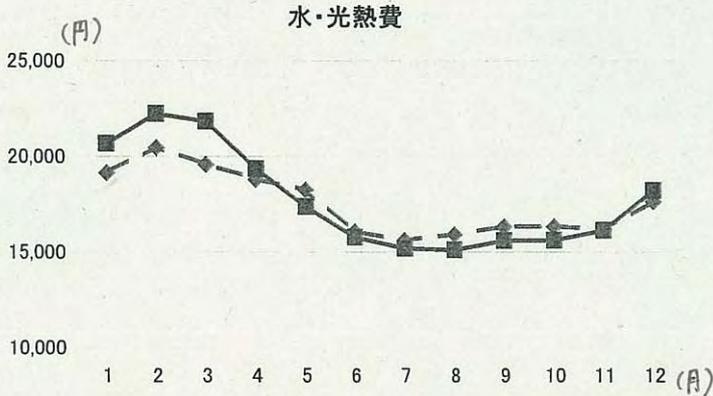
家計簿からも、いくつかの費目で社会情勢や震災の影響を感じますが、同時にモニターさんの家計管理に対する真剣さや節約する努力も伝わってきます。

震災前と震災後の変化を4費目でしてみました（2010年と2011年の比較）

—◆— 2010年
—■— 2011年

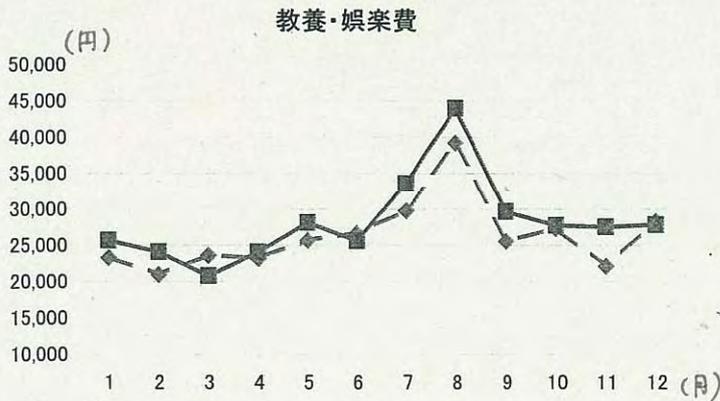


年間を通して、2011年の方が多い。
震災による食品価格の高騰、また高くても安全な商品を購入したことが影響したと考えられる。

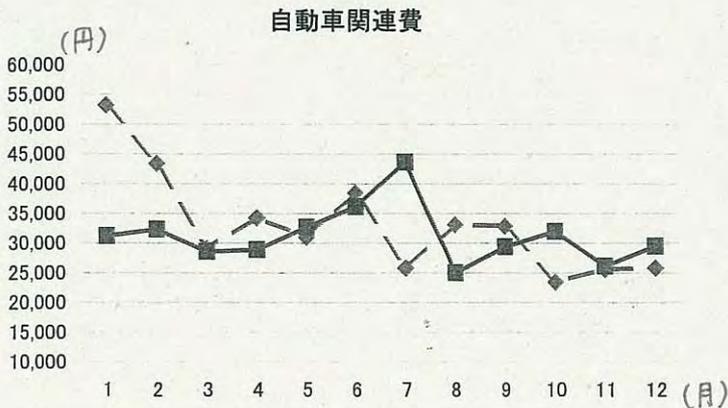


2011年1月～4月は前年より多かったが、震災以降各家庭がエコ生活を徹底したためか減少した。

2010年は猛暑により、使用量増加。

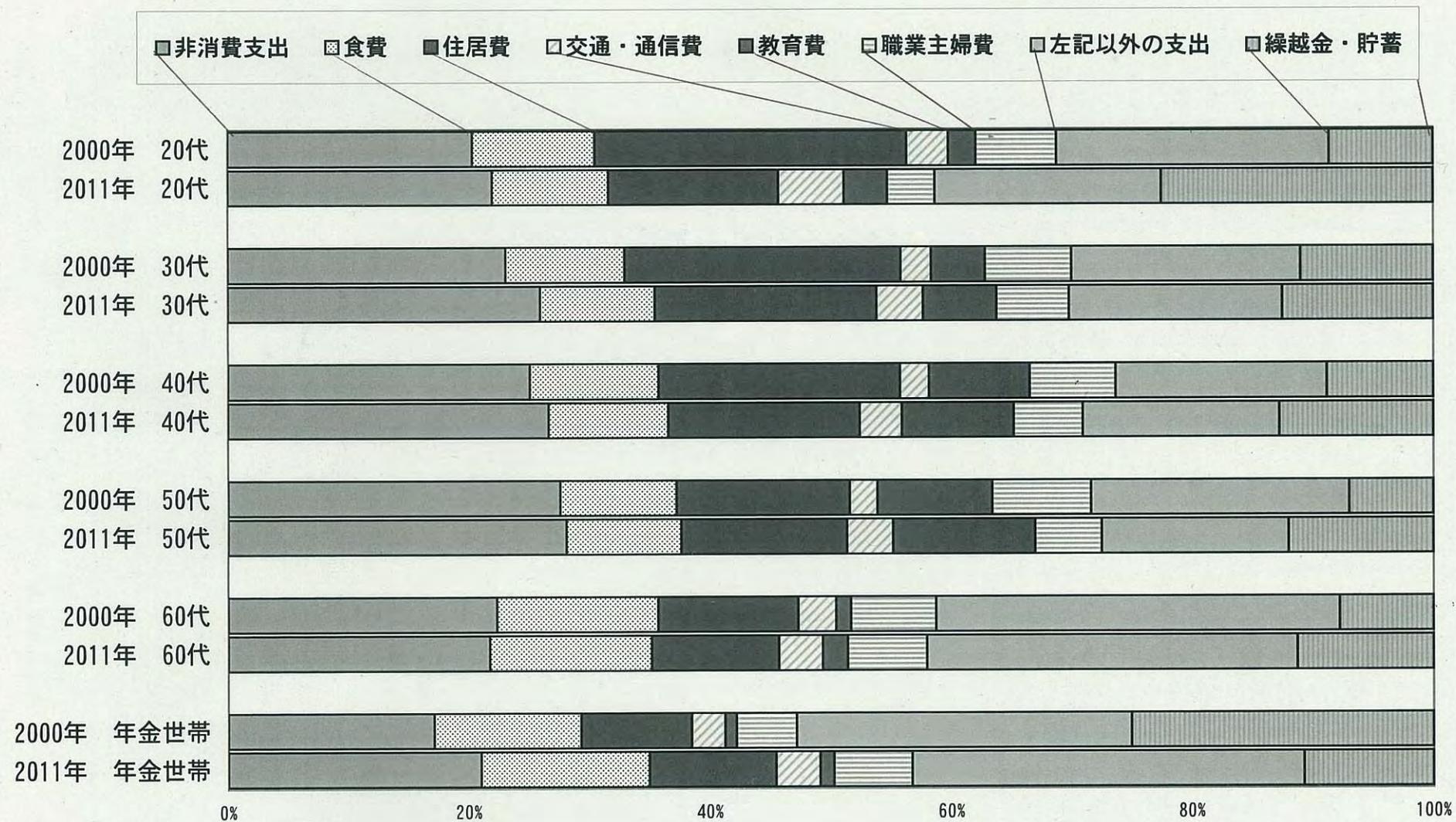


2011年は震災により、家庭の絆を深め、夏休みである8月の教養・娯楽費が増加したと思われる。



平均支出が多かった月は、ガソリンの高騰や新車購入の増加が影響したと考えられる。

2000年と2011年の収入に占める各費目の割合 (総平均)



2000年と2011年の収入に占める各費目の割合を比べてみました

—P5のグラフより—

◇ 収入と支出

収入は20代を除く各現役世代で1~5.5%減少しています。しかし非消費支出は増加し、消費支出は減少しています。収入が伸び悩む中で、消費支出を抑えようとする家計のやりくりが感じられます。

◇ 住居費

住居費は各年代共、2011年の方が2000年より減少しています。2011年の住宅ローンの返済額は2000年より4,000円減少しているだけですが、家賃地代は2011年の方が記入者平均で約25,000円も減少しています。これは住宅価格・地価が下落し、家賃・地代が下がっていると考えられます。

◇ 食費

各世代とも少し下がっていますが、あまり変化はありません。年金世帯の食費はほとんど増えていませんが、収入が減っているので、収入に占める食費の割合が増え、エンゲル係数が上がりました。ここ10年、物価の変動が少ないので、食費は、ほぼ一定の費目と言う事ができます。

◇ 通信費

20代~50代で著しく増加しており、携帯電話の普及と共に増加しています。今後スマートフォンの普及により、ますます増加する費目と考えられます。自分にとって必要な機能を考え、賢く使いこなす事が大切です。

◇ 教育費

2000年の総平均は38,128円でしたが2011年は52,410円と1.4倍になっています。特に50代では18,687円増え、1.24倍に増加しました。20代で1.7倍。30代は1.3倍。年金世帯でも総平均で約5,000円払っています。教育費はこれからも収入に占める割合が増加していくと予想されます。夫婦で子供の教育方針を話し合い、子供の個性や特技を伸ばしつつ、子供が将来の目標に向かって努力できるよう、教育費を有意義に使いましょう。

◇ 職業・主婦費

現役世代では減少しています。「お給料が下がると真っ先に減らされるのが、夫のお小遣いで、お給料が上がると一番最後に上がるのが、夫のお小遣いである。」とされています。もちろん、妻も頑張って節約していますが、夫も協力しています。年金世帯ではリタイアで得た多くの時間を有意義に過ごす為に職業・主婦費は必要なので、約10%増加しています。これは現役世代の時のやりくりの成果だと思えます。

◇ 繰越金・貯蓄

全ての現役世代で増加しています。雇用の状況や将来の年金に対する不安など、社会情勢を視野に入れて家計管理をしているのだと思えます。年金世帯は収入に対する「繰越金・貯蓄」が大幅に減っているように見えますが、収入を比較すると2011年は2000年より90,000円減少しています。非消費支出は5,000円多くなっていますが、消費支出は800円の増加しかありません。2011年の「繰越金・貯蓄」の減少は収入の減少とほぼ一致しています。

食費の内訳 《ベスト 6》 ……2005年との比較

〈単位:円〉



	食費合計	1位	2位	3位	4位	5位	6位
総平均	2005年 64,529	1,556	11,963	7,059	6,793	6,404	5,839
	2011年 67,463	17,079	13,714	6,780	6,779	5,183	4,938
20代	2005年 45,418	12,637	7,763	4,760	4,676	4,595	3,473
	2011年 47,072	13,452	7,330	5,237	3,473	3,411	2,630
30代	2005年 59,159	16,541	10,647	5,818	5,743	5,167	4,418
	2011年 56,987	19,526	10,984	5,311	4,893	4,470	4,423
40代	2005年 75,959	18,781	13,373	7,629	7,157	6,719	5,946
	2011年 71,699	17,228	14,769	7,704	7,093	6,183	5,491
50代	2005年 77,921	14,630	14,178	10,474	9,903	8,808	7,252
	2011年 79,412	19,314	15,430	8,225	7,055	6,830	6,461
60代	2005年 58,905	11,684	10,030	8,275	7,356	5,960	5,086
	2011年 61,541	13,220	12,815	7,070	6,438	5,940	5,741
年金世代	2005年 65,903	11,911	9,883	7,655	7,452	5,572	5,503
	2011年 60,273	13,131	12,658	6,834	6,346	5,908	5,454

※嗜好品とは、菓子・果物・酒、飲料の合計です。※外食の中に給食も含まれています。(30代の加工品は2010年の数値を使用しました)

2005年、2011年ともに外食+嗜好品で2万円以上、特に2011年は40~50代で3万円以上になっていて、食費の4割以上を占めています。特に年金世代は外食が6位から1位になっています。

全体的に見て、2005年よりも2011年は魚介類が後退しています。野菜は常に3~4位にランクインしています。

今できること

★震災でいろいろなことに気づきました。今まで当たり前のように様々なものを使い、無駄使いすることも多かったように思います。納豆・パン・牛乳・米などが手にはいらない、停電はする。このような状況になって初めて、生活するためにいろいろ工夫し、食料・物を大切にしなければならないと実感した自分が恥ずかしいです。義援金の寄付・自分たちの生活の見直し。今できることを少しずつしていきたいと思っています。

★東北地方太平洋沖地震で被災をされた方々の報道を毎日テレビで見えています。私たち家族も何かできないかと話し合い、みんなで外食1回分を我慢して、被災した方々に義援金を送ろうということになりました。

2011年3月の東日本大震災ではいろいろなことを経験し、
また、いろいろなことを学びました。

私たちはこのことを忘れないよう、東日本大震災によせられた
「声」を“2011年間のまとめ”の中に掲載しました。

★GWは結局いつもの年のように家で過ごしました。それでもお金は出て行って、今月も赤字です。義援金を出しても、なにかすぐには被災者のところには行かないようなので、出来るだけ買い物で応援をしようと思うのですが、家の近くのスーパーではなかなか扱ってなくて……。この前「おうちコープ」で福島のお酒があったので思い切って買ってしまいました。

計画停電による節電の「声」

★掃除機をやめて、ころころローラーに替えたのと、居間のライトを半分にしてみました。昨年同月比で723円の節約でした。

★老人2人だけなので、洗濯は手洗いし、お日さまに干しています。電気釜はやめて圧力なべでご飯を炊いています。電気はなるべく1部屋しかつけないようにしています。

★今月は節電のため、23年間使用のエアコン、3台を新品にし、LEDの電球と替えてみました。すごい出費ですが、今年の夏は節電に頑張りたいと思います。

<家計簿・くらし調査研究会 2011年活動報告書>

2011年

- ◇1月/25 家計簿つけ方学習会（相模大野・上大岡）。
- ◇2月/26 「学習会」と「家計簿交流会」開催（新横浜ユーホール）。
- ◇9月/24 「サポートまつり」参加。・家計簿をつけて良かった事の発表・コープかながわと日生協の比較パネルの展示。（新横浜ユーホール）。

- ◇毎月定例会を開催。
- ◇「家計簿ニュース」の発行。
- ◇2010年間集計を作成。
- ◇「老後資金」アンケート実施。
- ◇家計簿「夢ページ」の改訂に伴う点検。

☆お香典アンケート集計結果

- 1番多いのは「知人・友人・その家族」で、5.000円が40%で、10.000円は38%でした。
- 2番目に多いのは「親戚」で、10.000円が43%でした。
- 「上司・同僚・部下・その家族」への香典の金額は5.000円が多く、68%でした。
- 「配偶者の親」への香典は高額で提出者平均で83.333円でした。

2011年1月号～12月号の「家計簿ニュース」

*7月号より紙面変更をし、1面と3面に記事を掲載。

- 1月号「わが家のライフプランシート」を記入してみませんか？
- 2月号 交際費のうち、お香典の金額は？（アンケート集計）
- 3月号 CO・OP商品の良さはこんなマークで表示されています
(4・5月号は震災のため、発行されませんでした。)
- 6月号 震災で気付いたこと、これからしようと思うこと
- 7月号 (1面) 東北を元気にしたい！ (3面) コープも東北を応援しています
- 8月号 (1面) コープかながわと日生協の暮らし向きをくらべてみました (3面) 地震保険豆知識
- 9月号 (1面) 備蓄品でつくるいざという時メニュー (3面) 100円で買える美味しいCO・OP商品
- 10月号 (1面) 老後のお値段は？ (3面) 年金2つの？を調べてみました
- 11月号 (1面) 2007・2010年の食費の内訳 (3面) 退職金の受け取り方を調べてみました
- 12月号 (1面) 教育費、お宅は大丈夫？ (3面) 「老後の資金どうしてる？」アンケート

2011年間集計作成者（家計簿・くらし研究会メンバー）

- ・朝見千陽・伊藤さち子・鈴木泰子・旗谷利実子・原登美子・鮫島紀美江・関山万里子（担当職員）
- ・磯恵（担当スタッフ）